**9 茂木健一郎『疾走する精神』**

そもそも、①感情の働きとは何であろうか？　ひと昔前には、感情とはある特定の刺激に対する　　　　　な反応であると考えられてきた。大脳新皮質が担っている理性の働きが環境の変化に応じて柔軟な情報処理を行うのに対して、「の脳」とも呼ばれる古い脳の部位が重要な役割を担う感情は、一定の決まりきった反応をするものと思われていたのである。

しかし、近年の脳科学の発達により、感情は、むしろ生きる上で避けることのできない不確実性に対する適応戦略であることが明らかになってきた。理性では割り切れない、結果がどうなるかわからないような生の状況において、それでも判断し、決断することを支えるための情報処理のメカニズムとして、感情は存在していると考えられるに至ったのである。

感情は、生きる上で重要な「ⓐ直観」や「判断」といった認知プロセスを支えている。結婚するパートナーを選ぶのに、相手に数十項目の質問票を送りつけて、その回答に基づいて「今回はⓑ貴意に沿いかねる結果となりました」「おめでとうございます、あなたが当選です」などとやる人はいない。生涯のパートナー選びという重大な決断を、私たちは感情といなものに基づく直観に頼ってしまうことも少なくＡない。ましてや、「相手に未知の部分があるほど魅力的だ」と感じることまでＢあるのだから、②始末が悪い。

感情が不確実性に対する適応であると考えると、その反応において個人差が生じるのは自然なことである。不確実な状況の下では、とるべき選択肢の「正解」は一つとは限らＣないからである。

さまざまな人々が異なる戦略をとり、全体としてバラエティが増したほうが、人間という生物種全体としては、むしろ適応的である。生死にかかわるような状況においては、たとえ、Ｄある選択をした人が不幸にして死んでしまったとしても、別の選択をした人が生きのびれば生物種としては存続できるからである。全体が同じ選択肢を選んでしまっては、環境の変化や予想のできない事態に対してになってしまう。

③他人が異なる感情の反応を見せることを許容することの倫理的基礎は、まさにこの点にある。他人が自分と異なる感情の中にあることに反発するのは自然な心の動きであるが、とらわれてはいけない。自他のⓒ差異に対して許容的であることが、すぐれて生命哲学上の原理にかなっているのである。

一つのことに対する感情の反応において、一人ひとりが違うからこそ、その時に激烈なる多様性の森の中で、人類は文明を発達させることができたのである。

語　注

曖昧模糊＝はっきりせず、ぼんやりしているさま。

脆弱＝もろくて弱いこと。

問1　二重傍線部ⓐ～ⓒの漢字の読みを平仮名で記せ。（3点×3）

ⓐ〔　　　　　〕　ⓑ〔　　　　　〕　ⓒ〔　　　　　〕

問2　空欄に入る語句として最も適当なものを次から選べ。（5点）

ア　類型的　　イ　倫理的

ウ　適応的　　エ　個人的

〔　　〕

問3　波線部Ａ～Ｄと同じ品詞（口語文法による）を傍線部に含む例文を、次からそれぞれ一つずつ選べ。（3点×4）

ア　あらゆる事態を想定して準備する。

イ　美しい夕焼けに感動する。

ウ　子どもたちのすこやかな成長を願う。

エ　庭の松の木に季節はずれの雪が降る。

オ　の桜を湖面から眺めたい。

Ａ〔　　　〕　Ｂ〔　　　〕Ｃ　〔　　　〕　Ｄ〔　　　〕

問4　傍線部①「感情の働きとは何であろうか？」の答えを、体言（名詞）で終わる形で本文中から二十五字以上三十字以内で抜き出せ。（8点）

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問5　傍線部②「始末が悪い」の理由として最も適当なものを次から選べ。（8点）

ア　感情などに頼っている人間は信用ができないから。

イ　相手の魅力すら言葉にすることは簡単ではないから。

ウ　感情の複雑さは論理だけでは説明がつかないから。

エ　感情の複雑さにこそ味わい深いものがあるから。

〔　　　〕

問6　傍線部③の理由として最も適当なものを次から選べ。（8点）

ア　他者の感情の表出を受容することが、人間同士の争いを抑制し、種の生存可能性を高めるから。

イ　他者の感情の表出を受容することが、人間にとっての選択肢を増やし、種の生存可能性を高めるから。

ウ　感情の表出のされ方は決まったパターンがなく、それに臨機応変に対応することが人間に生の実感を促すから。

エ　感情の表出のされ方は決まったパターンがなく、時として感情同士が衝突することが人間に生の実感を促すから。

〔　　　〕

練習問題〈外来語〉

次の外来語の意味をそれぞれ後から選べ。

①　ロゴス （　　　）

②　パラドックス （　　　）

③　アイロニー （　　　）

④　コントラスト （　　　）

⑤　フィジカル （　　　）

⑥　テーゼ （　　　）

⑦　ドメスティック （　　　）

⑧　ニヒリズム （　　　）

⑨　イデオロギー （　　　）

⑩　モチーフ （　　　）

ア　物質的・肉体的

イ　観念形態　　　ウ　対比・対照

エ　逆説　　　　　オ　言語・理性

カ　皮肉・反語　　キ　命題

ク　動機・主題　　ケ　虚無主義

コ　家族的

【解答】

問1　ⓐちょっかん　ⓑきい　ⓒさい

問2　ア

問3　Ａ＝イ　Ｂ＝エ　Ｃ＝オ　Ｄ＝ア

問4　生きる上で避けることのできない不確実性に対する適応戦略（27字）

問5　ウ

問6　イ

【練習問題解答】

①オ　②エ　③カ　④ウ　⑤ア　⑥キ　⑦コ　⑧ケ　⑨イ　⑩ク

【50字要約例】

近年では不確実性への適応戦略とされる感情反応の個人差を許容することは、生命哲学上の原理にかなう。（48字）